

32119 GROM 用バックステッププレート (まんまさがる君)

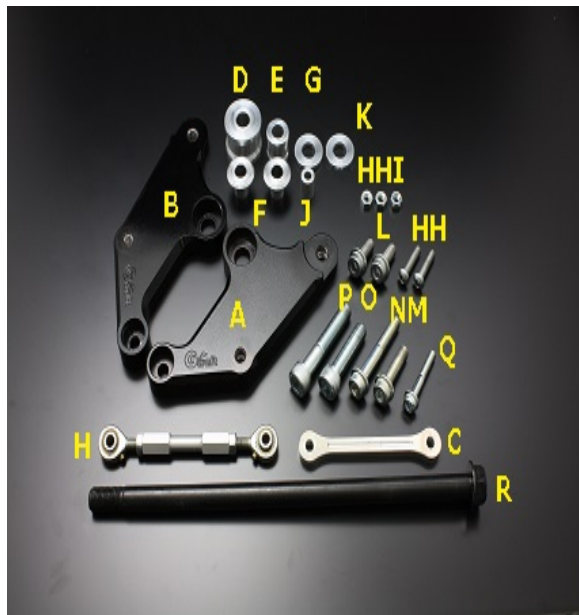
この度は G クラフト 製品をお買い上げ頂きまして有難うございます

装着の際には、この取扱い説明書を良く読んで安全に作業して下さい

！ 注意事項 ！

- 取付け作業は安全かつ平坦な場所を選び、車体を確実に固定、安定させてから行って下さい。メンテナンススタンド等があればより安全に作業できます。
- ノーマルパーツをはずす際、又は取付け作業にはサービスマニュアルを参考にして下さい。
- この説明書に反した使用方法、取付けでの破損や損害につきまして当社は一切の保証をいたしません。
- 作業終了後は必ずボルトの増し締めをおこなって下さい、走行後も随時確認をおこなってください。
- ホース取り回り変更後はブレーキフルードオイルラインのエア抜き、フルードの適正量確認を必ず行ってください。
- ポジションは純正位置より 50mm バック、40mm アップに加えて、構造上チェンジ側はフレームより 15mm、ブレーキ側は 30mm オフセットします。

商品画像



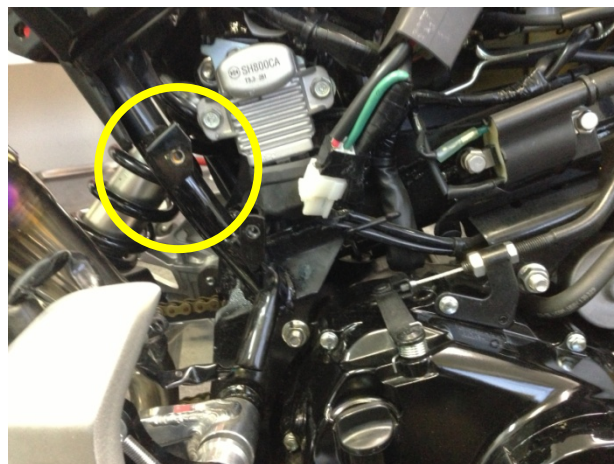
※H は仮組み梱包してあります。

※写真には S が記載してありません。

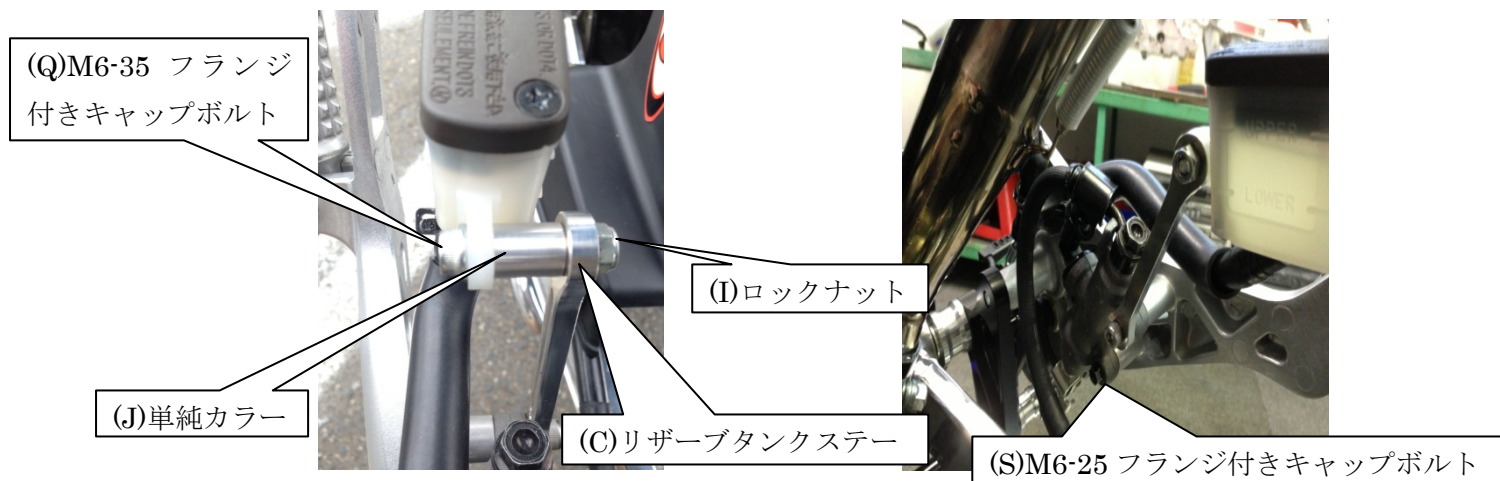
パーツリスト※種類と数量をはじめに御確認下さい※			
部品番号	部品名	個数	備考
321191	BSプレートL	1	A
321192	BSプレートR	1	B
321193	リザーブタンクステー	1	C
321194	R フロント カラー	1	D
321195	R リア カラー	1	E
321196	専用スリーブ	2	F
321197	L フロントカラー	1	G
65204	ロッドエンドオス	1	H ASSY
65205	ロッドエンドオス	1	
620695	シフトロッド	1	
65083	ナット	1	
65084	逆ナット	1	
65021	ボタンボルト	2	
65232	ロックナット仮組み済み	2	I
65232	ロックナット	1	
620225	単純カラー	1	J
631664	単純カラー	1	K
65790	M8-20 P1.25フランジ付きキャップボルト	2	L
65792	M8-30 P1.25フランジ付きキャップボルト	1	M
65798	M8-60 P1.25フランジ付きキャップボルト	1	N
65070	M10-40 P1.25 キャップボルト	1	O
691765	M10-55 P1.25 キャップボルト	1	P
65283	M6-35 P1フランジ付きキャップボルト	1	Q
311063	アクスルシャフト	1	R
65282	M6-25 P1フランジ付きキャップボルト	1	S

1. 純正シート、ブレーキ側カウルを取り外し、純正リザーブタンクを取り外します。純正は右図の位置に取り付けてあります。

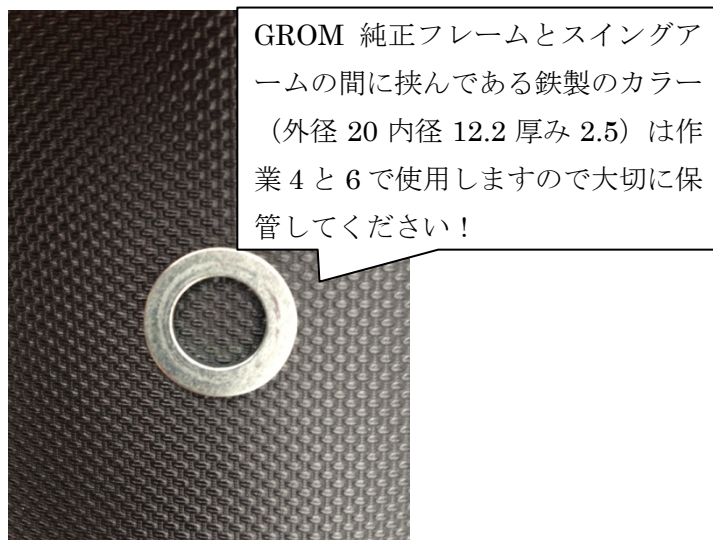
2.



2. 純正リザーブタンクを「C」リザーブタンクステー、「J」単純カラー、「Q」M6-35 のフランジ付きキャップボルトを用い固定します「S」M6-25 キャップボルトを使用して固定します。裏側は純正ボルトを「S」M6-25 フランジ付きキャップボルトと交換します。

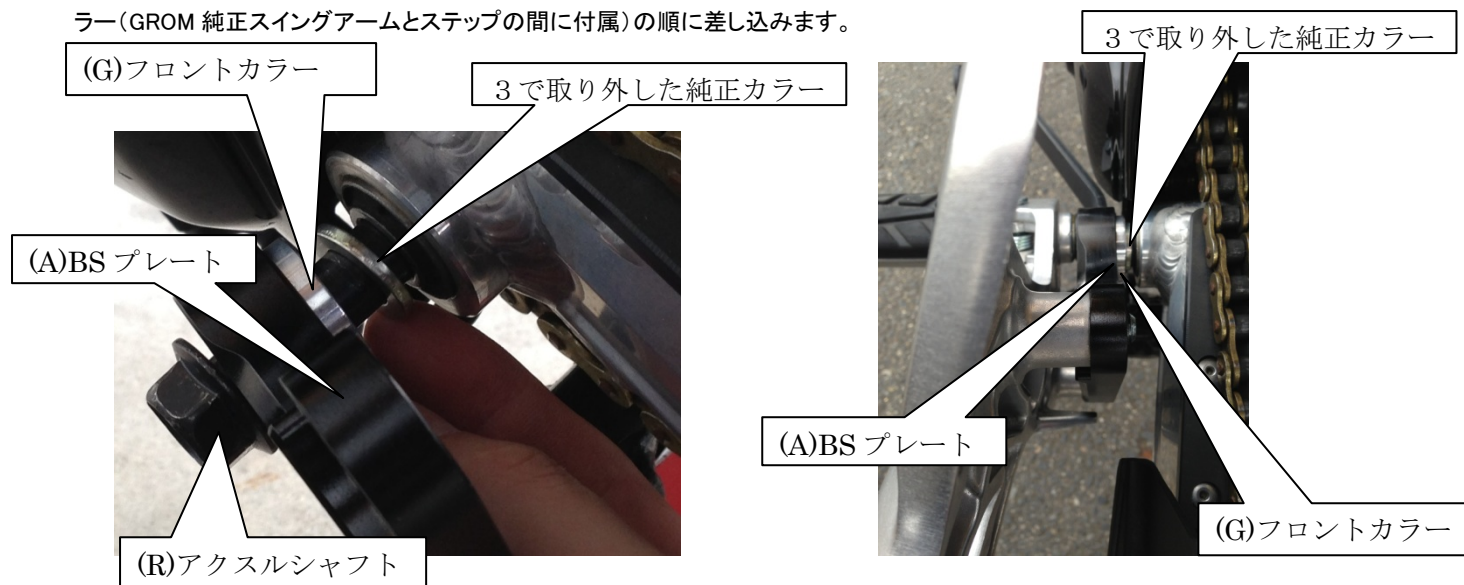


3. 車両をジャッキ等で持ち上げてスイングアームを取り外します。作業写真はスイングアームを取り付けたまま作業していますが、チェーン、ホイール、スイングアームを外してから作業したほうが安全に作業ができます。

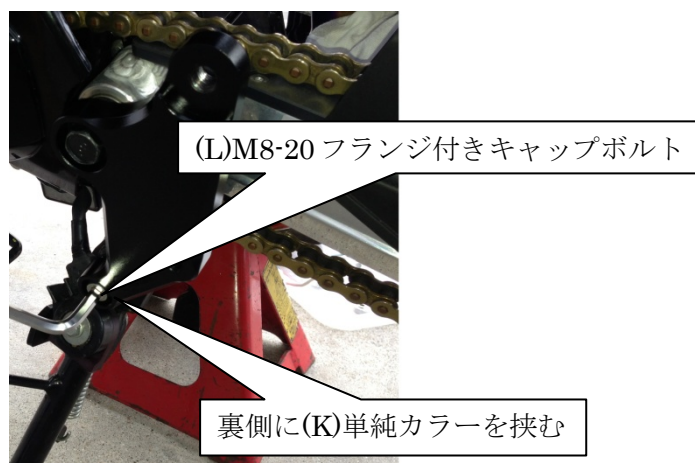


ジャッキスタンドを噛ませる時はスタンドを下ろし、図の位置にジャッキスタンドをあてて下さい。

4. 純正ステップをとスイングアームを取り外し、チェンジ側から「R」アクスルシャフト、「A」BS プレート、「G」フロントカラー、純正部品のカラー（GROM 純正スイングアームとステップの間に付属）の順に差し込みます。

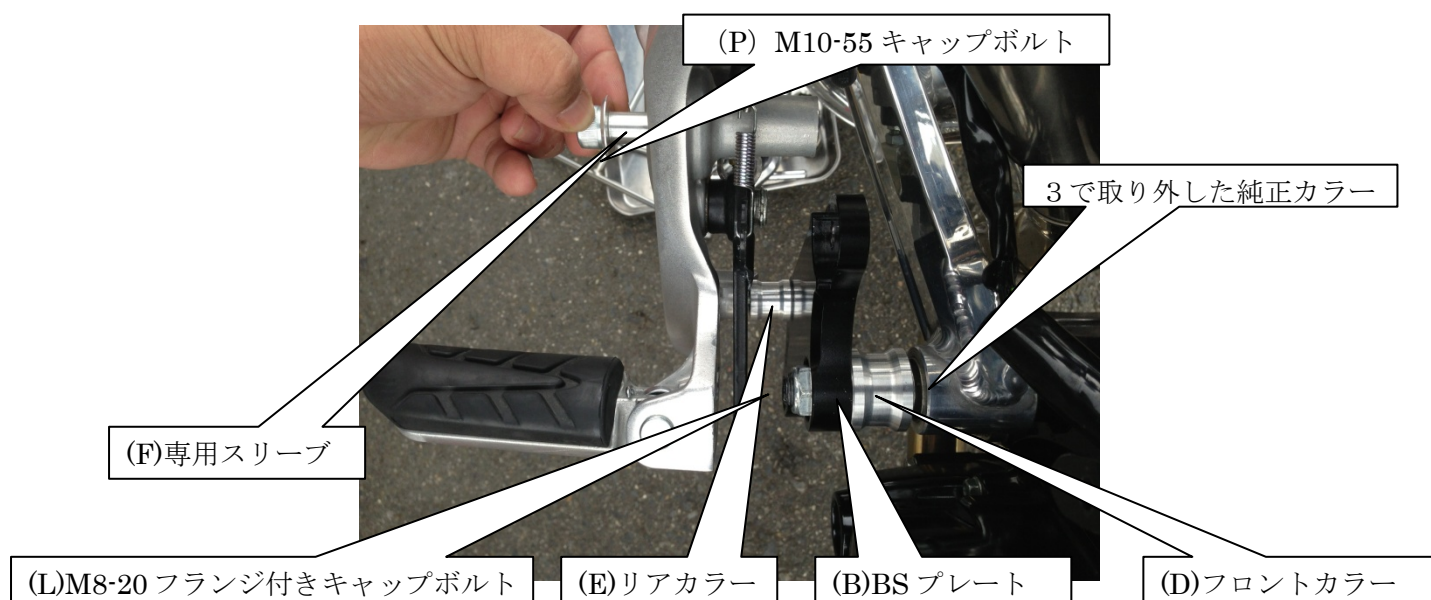


5. 図の位置は「L」M8-20 で仮締めします。フレームと BS プレートの間に「K」単純カラーを挟みます。



6. 次に、ブレーキ側のステップを取り付けます。

図のように BS プレートを取り付け、左右 BS プレートを本締めした後に純正ステップを取り付けます。



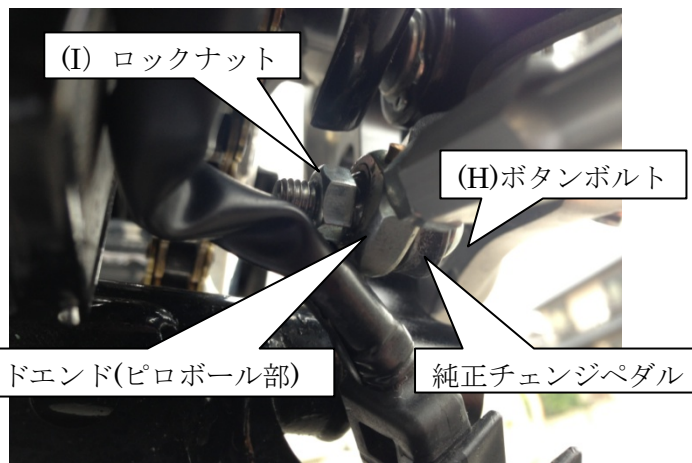
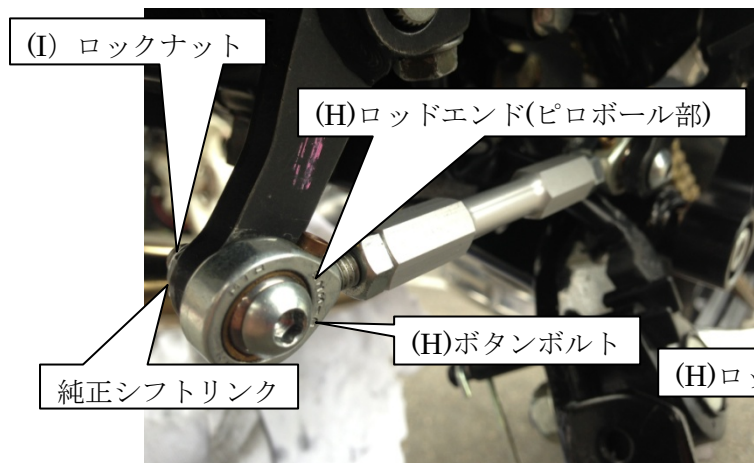
7.ブレーキ側ボルトの増し締めをします。

8.チェンジ側に純正ステップを図のように取り付けます。

取り付け後増し締めをします。



8.「H」の ASSY になっているチェンジロッドを取り付けます。純正シフトリンク側はピロボールが手前に、ペダル側はピロボールを奥に取り付けます。装着後シフトリンクとチェンジロッドを調節してペダルの高さを調整してください。チェンジロッドに引っかからない様配線はタイラップ等で固定してください。ピロボール部のボルトを締めた後はピロボールが正常に可動するかのチェックを必ずしてください。



各部ボルトの締め付け確認と各部品の干渉が無いかを確認して作業終了です。

必ずならし運転をして安全を確認した後、走行して下さい。

走行前及び走行後の確認は必ず行うようにしましょう。